

【クリスマスリース】

花や葉、木の枝などで編んだ輪、あるいは冠のことをリース(wreath)と呼びます。リースには「魔除け」の意味があるとされ、玄関ドアに飾ることで家の中を守り、幸運を呼び込むとされています。

クリスマスリースに使う松ぼっくりやリンゴ、ブドウの蔓、麦の穂などの飾りは、次の収穫期の豊作を願って飾られています。

リースの丸い形は、始めと終わりの境目のないことから「永遠」を意味し、特にクリスマスリースには、「終わりのない永遠の神の愛」という意味が込められているそうです。



あそんでみよう！

【準備】

- ・事前に、里山等で土台の蔓や飾りの木の実等の材料を集めておく。時期的には11~12月頃がよい。
- ・剪定バサミ、普通のワイヤー、リース用ワイヤー、麻ひも、グルーガン、グルーガン用スティック、木工用接着剤、リボン等を用意しておく。
- ※土台(リース台)となる蔓はアケビ、ヤマブドウ、フジ、クズ等がよい。飾りは、松ぼっくり、ドングリ類、オオヤシャブシ、カラマツ、モミジバフウなどの実、ノバラ、ツルウメモドキなどの蔓の枝と実、ヒノキ、アスナロ、ヒバ、ヒイラギ等の針葉樹・常緑樹の葉を用意する。

【進め方・ルール】

- (1) ツルを巻いてリース台を作る。太いものに細いものを絡ませておくと色々な飾りが絡みやすい。
- (2) 飾りを輪の上に置くなり、バランスをみながら、ワイヤー等で仮止めする。
- (3) コーティングをしたり、落ちないようにしたり、飾りを固定する。
- (4) 最後にリボン等で飾り付けすると華やかになる。

※飾りはグルーガン、木工用接着剤、ワイヤー、麻ひも等で固定する。



(1)



(2)



(3)